

TAKENAKA CORPORATION

Corporate Profile

竹中工務店 会社案内

株式会社 竹中工務店



当社は「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」ことを使命としてきました。そのために、社是を基本姿勢とし、手掛ける建築物の一つひとつを丹精込めてつくってきました。そして、お客様満足や社会の信用を得て企業の社会的価値を高める「品質経営」を継続しています。

経営理念

最良の作品を世に遺し、社会に貢献する

竹中グループメッセージ

想いをかたちに 未来へつなぐ

品質経営基本方針

品質重視の経営に徹し
新しい環境創造への挑戦により
お客様満足と社会の信用を得る



棟梁精神

400年にわたって受け継いできた「匠の心=棟梁精神」



作品主義

関わるすべての人の想いがかたちになったとき、その建物は「作品」となります。



設計施工一貫

品質を高めるためには、設計と施工を一貫して担当することが重要だと私たちは考えています。



品質経営

私たちは、時代が変化を迎えても、変わることなく、品質を追求し続けます。

1600	1800	1900	1960	1980	1990	2000	2010	2020
<p>1610 初代 竹中藤兵衛正高 名古屋で創業 神社仏閣の造営を 業とする</p>	<p>1874 明治維新後、 洋風建築を手掛ける 名古屋鎮台兵舎 竣工</p> <p>1884 三井銀行名古屋出張店 竣工</p> <p>1897 三井名古屋製糸所 竣工</p> <p>1899 14代 竹中藤右衛門が 神戸に進出 創立第1年とする</p>	<p>1900 三井銀行 神戸小野浜倉庫 竣工 1</p> <p>1909 合名会社 竹中工務店 設立</p> <p>1934 明治生命館 (東京・丸の内) 竣工 2</p> <p>1937 株式会社 竹中工務店 設立</p> <p>1941 株式会社 竹中土木 設立</p> <p>1957 南極観測用施設 製作</p> <p>1958 東京タワー 竣工 3</p> <p>1959 竹中建築技術研究所 開設</p>	<p>1960 TAKENAKA & ASSOCIATES INC. を サンフランシスコに設立 海外事業を本格化</p> <p>1963 国立劇場 設計競技 1等入選 4</p> <p>1973 ヨーロッパ竹中 設立 欧州へ進出</p> <p>1974 タイ竹中, インドネシア竹中 シンガポール事務所 設立 東南アジアへ進出</p> <p>1979 デミング賞実施賞受賞</p>	<p>1981 シンガポール チャンギ国際空港ターミナル 竣工</p> <p>1984 神戸中山手に 竹中大工道具館 開設</p> <p>1986 第二国立劇場国際設計競技 最優秀作品入選</p> <p>1987 ホテル日航サンフランシスコ 竣工・開業</p> <p>有楽町マリオン 竣工</p> <p>1988 竹中錬一会長が デミング賞本賞受賞</p> <p>日本初の空気膜構造スタジアム 東京ドーム 竣工 5</p>	<p>1991 グランドハイアット カウアイ リゾート&スパ 竣工・開業 6</p> <p>1992 地球環境憲章 制定 日本品質管理賞受賞</p> <p>1993 日本初の屋根開閉式 多目的スタジアム 福岡ドーム* 竣工</p> <p>竹中技術研究所 印西市千葉ニュータウンに移転</p> <p>1994 関西国際空港ターミナルビル 竣工</p> <p>1995 環境建築のパイオニア アクロス福岡 竣工 7</p> <p>1997 名古屋ドーム* 竣工</p>	<p>2001 世界初の浮動する天然芝 アリーナ 札幌ドーム* 竣工</p> <p>2007 中部地方一の高さを誇る ミッドランドスクエア 竣工</p> <p>東京都心の大型複合施設 東京ミッドタウン 竣工 新丸の内ビルディング 竣工</p> <p>2008 世界初の3棟連結超高層 集合住宅 アイランドタワースカイクラブ 竣工</p> <p>2009 環境方針 制定</p>	<p>2010 環境メッセージ 「人と自然をつなぐ」制定</p> <p>2012 生物多様性活動指針 制定</p> <p>2013 燃エンウッド®を採用したサウスウッド、 大阪木材仲買会館 竣工 木造木質建築を推進</p> <p>2014 日本一の高さを誇る あべのハルカス 竣工</p> <p>竹中大工道具館 神戸中山手から新神戸駅近くに移転</p> <p>2017 チャンギ空港 第4ターミナルビル 竣工 8</p> <p>2019 CO₂長期削減目標 設定</p>	<p>2020 森林ブランドサイクル®を加速する FLATS WOODS 木場 竣工</p> <p>2022 都市空間を豊かに再編する 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 竣工</p> <p>2023 グループCO₂削減目標 設定</p> <p>2024 竹中グループ2030年CO₂削減目標が SBT認定 取得</p> <p>まちの新しい日常をつくる 長崎スタジアムシティ 竣工 9</p> <p>2025 環境戦略2050 策定</p> <p>大阪・関西万博 10 大屋根リング(西工区) 森になる建築</p> <p>2026 リジェネラティブな考え方を取入れた グループ経営ビジョン 施行開始</p>

*竣工当時名称



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

数多くの都市開発プロジェクトの取り組みを通じて、都市の課題を解決し、建築を起点にまちに新たな価値を創造しています。

都市開発・まちづくり



©Akira Ito(aifoto)

共同事業参画



都市再生特区



都市再生特区



国家戦略特区 市街地再開発

グラングリーン大阪

[2024] 大阪

設計：(南街区賃貸棟)三菱地所設計、日建設計、竹中工務店、大林組
(北街区賃貸棟)日建設計、竹中工務店
(北・南街区分譲棟)竹中工務店、日建ハウジングシステム
(大屋根施設)SANAA事務所
(都市公園・ランドスケープ)GGN(デザインリード)、日建設計、三菱地所設計
施工：(賃貸棟・分譲棟・公園施設)竹中工務店(JV)
(都市公園)大林組、竹中工務店、竹中土木(JV)



大阪梅田ツインタワーズ・サウス
[2022] 大阪
設計：日本設計 + 当社



中日ビル

[2023] 愛知



東京ミッドタウン八重洲
[2022] 東京
設計：日本設計 + 当社



創立以来、技術開発力・エンジニアリング力を駆使し、多様なニーズを最良の品質・性能で実現した数多くの建築作品を世に送り出しています。

オフィス



Nearly ZEB



ZEB



ZEB

エア・ウォーター健都

[2023] 大阪



富士ソフト汐留ビル
[2024] 東京

横浜市役所
[2020] 神奈川
設計：当社 + 横総合計画事務所
施工：当社(JV)



商業



都市再生特区 市街地再開発



渋谷 パルコ・ヒューリックビル

[2019] 東京



WITH HARAJUKU
[2020] 東京
設計：当社+伊東豊雄建築設計事務所

MIYASHITA PARK
[2020] 東京



教育・研究



立命館大学
大阪いばらきキャンパス H棟
[2024] 大阪
設計監修：学校法人立命館 キャンパス計画室



Toyota Technical Center Shimoyama
車両開発棟・来客棟 [2023] 愛知
基本設計・監理：久米設計
設計：当社・久米設計



京都芸術大学 相照館
[2024] 京都



三菱ケミカル
Science & Innovation Center 本棟
[2022] 神奈川



医療福祉



木構造建築

宿泊



魅力再生

住宅



ZEH



文化・集会



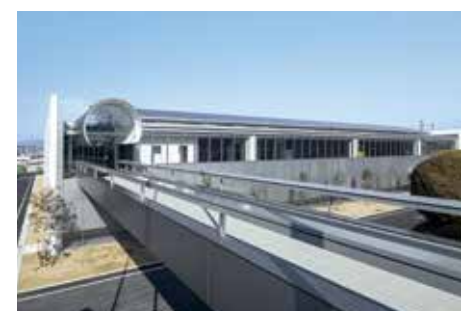
提供：長崎スタジアムシティ



ZEB



産業・交通

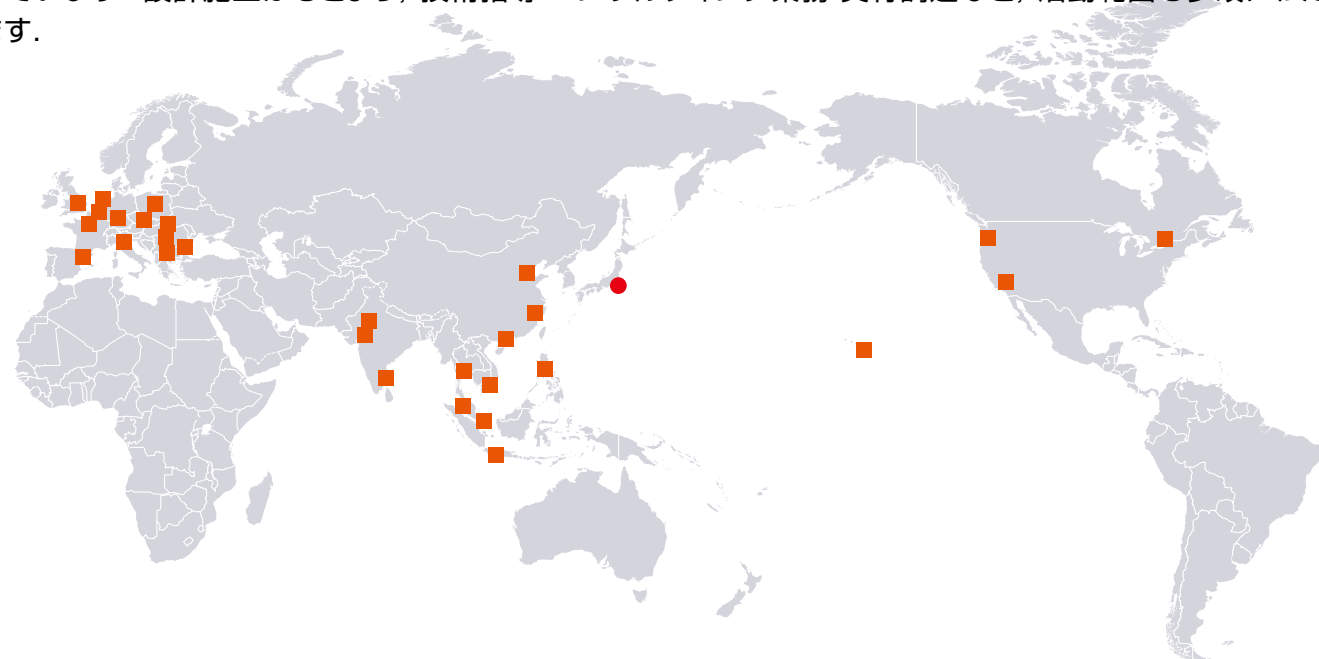


宗教・伝統建築

甲南医療センター
[2022] 兵庫国立循環器病研究センター
[2019] 大阪
基本設計・実施設計監修：佐藤総合計画
実施設計：当社・日本設計大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター
[2022] 大阪
基本設計：山下設計新柏クリニック糖尿病みらい
[2020] 千葉ヒルトン京都
[2024] 京都歳吉屋 -BYAKU Narai-
[2021] 長野
施工：他社立誠ガーデン ヒューリック京都
[2020] 京都
施工：当社(JV)山荘 京大和・パーク ハイアット 京都
[2019] 京都
インテリアデザイン：トニーデー + 当社
作庭：北山 安夫代々木参宮橋テラス
[2023] 東京TUS グローバルレジデンス
[2024] 千葉虎ノ門ヒルズ レジデンシャルタワー
[2022] 東京長崎スタジアムシティ
[2024] 長崎
基本計画：当社 環境デザイン研究所
基本設計：他社 実施設計：当社 施工：当社(JV)神戸須磨シーワールド
[2024] 兵庫茨城市文化・子育て複合施設 おにクル
[2023] 大阪
設計：伊東豊雄建築設計事務所 当社ハレミライ千日前
[2023] 岡山
当社(JV)MARUWA瀬戸工場
[2023] 愛知
基本計画・基本設計：グンスラー・アンド・アソ
シエイツ・インターナショナル・リミテッド
基本設計・実施設計：当社ヤマウチ枚方工場
[2023] 大阪GLP ALFALINK茨木1
[2024] 大阪
基本計画・基本設計：日建設計東京九州フェリー
横須賀フェリーターミナル
[2021] 神奈川水天宮御造替
[2016] 東京熱田神宮「剣の宝庫 草薙館」
[2021] 愛知
意匠設計：玄綜合設計奈良薬師寺食堂復興事業
[2017] 奈良
復元基本設計・監修：文化財保存計画協会
内部基本設計・監修：伊東豊雄建築設計事務所

竹中工務店のグローバル展開

当社の海外活動は戦前からの歴史をもち、1960年の米国進出をきっかけに、現在では世界各地にネットワークを広げています。設計施工はもとより、技術指導・コンサルティング業務・資材調達など、活動範囲も多岐にわたっています。



アメリカ合衆国では開発事業及び建設に関するアドバイザー業務を行っています。

アジア・中国地区

当社アジア・中国地区での実績



チャンギ空港 第4ターミナルビル
[2017] シンガポール 実施設計・施工：当社
申請・監理：SAA Architects
コンセプトデザイン：Benoy



パシフィック センチュリー プレイス ジャカルタ
[2017] インドネシア
デザイナー・アキテクト：当社 建築設計：PDW
構造設計：GISTAMA 設備設計：ASDI



UMCシンガポール新工場
[2024] シンガポール
基本設計：Surbana Jurong
実施設計：L&K Engineering Co., Ltd



ヨーロッパ地区

当社ヨーロッパ地区での実績



ジャガー・ランドローバー スロバキア新工場
[2018] スロバキア
(車体・組立工場)設計：Kohlbecker
Gesamtplan GmbH



ToyoTireセルビア新工場
[2023] セルビア
基本設計：NORTH Engineering d.o.o.



ミルボン中国工場
[2021] 中国



コンチネンタルタイヤ タイ新工場
[2018] タイ
設計：Archetype Thailand



ヤンマー インド エンジン工場
[2021] インド



竹中工務店の開発事業



山荘 京大和・パーク ハイアット 京都
[2019] 京都
インテリアデザイン：トニーチー + 当社
作庭：北山 安夫



ホテル日航サンフランシスコ
[1987] アメリカ



グランドハイアット カウアイリゾート&スパ
[1991] アメリカ
設計：Wimberly Allison Tong & Goo



木造・木質建築, ZEB建築の豊富な実績と知見でお客様のご要望に合致した環境建築の実現をサポートします。

竹中工務店の脱炭素 木造・木質建築



外装にLOW-Eトリプルガラス+アルゴンガス封入のCWを採用することで、U値(ガラス部)0.61W/m²Kを実現。内部に自然光を取り入れるトップライトは自然換気にも利用しています。



耐火集成材 燃エンウッドの斜め柱とテンションロッドを組み合わせることで主要耐震要素とした、日本初の本造外殻構造。



北海道産カラマツ100%利用の耐火集成材(燃エンウッド)の活用や家具の道産材利用を含めて、北海道内の森と林業の循環サイクルへの貢献を目指しました。環境性能としても、自然光や自然換気を利用した亜寒帯気候型のインナーガーデン、インナーテラスを室内に取り込み、地下水と空気を利用した放射空調と組み合わせながら、場所によって変化のある快適な室内環境をABWと合わせて計画し、ZEB Readyを達成しています。

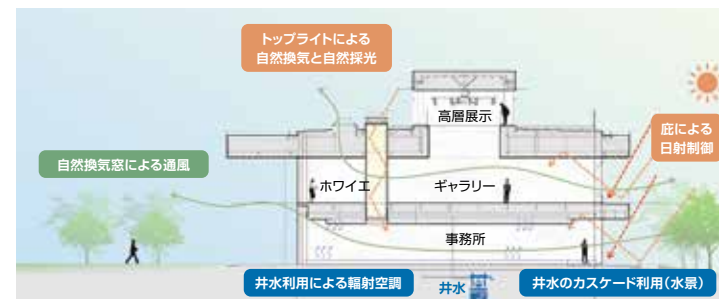
エア・ウォーターの森
[2024] 北海道



竹中工務店の脱炭素 ZEB建築



山梨の豊かな自然・風土を生かした「ゼロエネルギービルディング」、甲州式棚栽培の仕組みをヒントにした底による日射制御、地下水利用による輻射空調を用いた山梨の資源を生かした環境建築です。



トップライトを利用した自然換気、ライトシェルフ・ライトウェル・地下水を利用した水盤で自然光を柔らかく取り入れる工夫、地下水利用の輻射空調などで快適性と環境性能を両立。



甲州式棚栽培の仕組みをヒントにしたエクスパンドメタルの底による日射制御や、山梨の豊かな地下水を利用した輻射空調とそのカスケード利用を行った、山梨の自然資源を生かした環境建築です。自然換気・自然光導入・エネルギーの見える化により知的生産性の向上を図ると共に、井水・太陽光など再生可能エネルギーの利用による環境負荷低減を行い、NET ZEB(108%削減※)を実現しています。※2024年実績値

キトー山梨本社
[2023] 山梨



大学事例としては日本初の大規模な木造3層吹抜を実現しました。構造体の95%に大分県産スギを活用し、木現しの準耐火燃えしる設計を採用しています。ちがいがら気づきを生み出すインクルーシブな学びの場となる温かみのある木造 commons(共用空間)により、キャンパス滞在時間が増加し、多様な個性が互いに刺激し合い助け合い気づきを得て、成長する森のような場を目指しました。

立命館アジア太平洋大学
Green Commons
[2023] 大分



約100か国・地域から集まった学生・教職員に加え地域の方々を含めたダイバーシティの溢れる使い方を内包する木造 commons。



敷地周辺の地域環境を読み解き、自然光・自然通風を積極的に活用しています。階段室を利用した全館自然換気システムや、サーカディアンリズム制御に加え、外部の風や気温に反応し、変化する照明により、自然のゆらぎのなかで過ごす快適なワークスペースと環境性能の両立を図り、Zeb Readyを実現しています。さらなる脱炭素への取り組みとして、創業者ゆかりの地である伊万里産の杉材を構造柱や仕上げに用い、ランドスケープでは、地域に飛来する渡り鳥や蝶をリサーチし、地域の植生を中心に木の実や花の蜜をつける植栽を選定し、周辺の公園とながらまちの豊かな緑地帯を形成しています。

森永芝浦ビル
[2024] 東京



鏡面材による外装のグリッドフレームは空と緑を映し、豊かな表情をまちに与えます。光・風環境のシミュレーションにより計画された水平フィン、夏の日射を防ぎながらライトシェルフとして天窓光を柔らかく反射し、垂直フィンはウィンドウキャッチとして機能することで室内に自然の風を導きます。

持続可能な社会の実現に向け、資源循環や生物多様性の保全、自然が持つ多彩な機能を活用するグリーンインフラの推進に取り組んでいます。

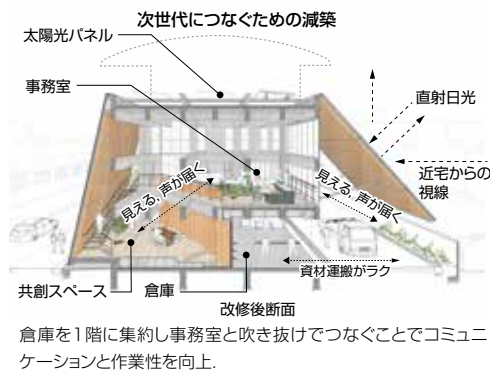
竹中工務店の資源循環 サークュラーデザインビルド®



2層分の階高がある事務室。新設したトップライトから自然光が差し込む。



改修工事の様子。使用しないエリアの床を撤去。



解体され、建替えられる予定だった築35年の既存建築を、躯体と外装を残して再利用し、スクラップ&ビルドを超える価値の創出を目指したプロジェクトです。使用されていない4階の社宅と2・3階の床を減築し、重量が軽くなった分、既存躯体から大庇を吊り下げ、基礎をつくらず増築することで不足していた1階の床面積を拡張しました。これまで時を刻んできた既存RC躯体のもつ魅力を発見・抽出し、時の流れを味方につけることで100年大切に使われる建築を目指しました。

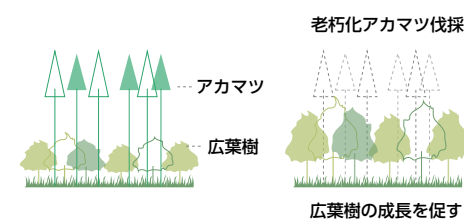
大阪避雷針工業神戸営業所
[2024] 兵庫



竹中工務店の自然共生 生物多様性・グリーンインフラ



老朽化した敷地内のアカマツを伐採し、広葉樹の成長を促す林相転換を行いました。伐採されたアカマツは地元で製材し、建具や家具へ活用しています。



サントリー天然水
北アルプス信濃の森工場
[2022] 長野



見学に訪れた人が水源涵養林保全・育成の活動を体感できる場所づくりを行っています。ドローン測量や現地踏査により植生・地形などを把握し、散策路の最適な位置を決定しました。

時を経た建物の機能や美観を回復させ、新たな機能を付加することで資産価値や事業性の向上を目指しています。

竹中工務店の魅力再生



2022年の静嘉堂文庫美術館移転では、様式建築の魅力と国宝をはじめとする美術品の展示ができる高い機能性を融合。



2004年に行われた補修・修復工事の様子

1934年 岡田信一郎の設計、当社施工にて創建
1945年 GHQにより接収。
1956年 接収解除後のこの年から全面的な復旧工事を実施。
1997年 「昭和の建造物」ではじめて重要文化財に指定。
2004年 再開発に伴い機能性と居住性の向上を目指した補修・修復・改修の設計施工を実施。
2022年 静嘉堂文庫美術館が明治生命館に移転。



写真上：補修・修復・改修完了時外観 写真下：創建時外観



1934年に創建された明治生命館は、「明治期以降にわが国の建築が洋風の意匠を導入した歴史のひとつの到達点を示す作品」として評価され、1997年に「昭和の建造物」ではじめて重要文化財に指定されました。戦後、GHQ接収解除後に全面的な復旧工事を実施。2004年には、再開発に伴い機能性と居住性の向上を目指した補修・修復・改修を行いました。2022年の静嘉堂文庫美術館の明治生命館への移転では、様式建築の魅力と国宝をはじめとする美術品の展示ができる高い機能性との融合に取り組んでいます。

明治生命館・静嘉堂文庫美術館
[2022] 東京



1932年創建の登録有形文化財を当社がマスターリースし、当時の装飾を残しながら耐震補強などを施しイノベーションを促すシェアオフィスに改修しました。事業提案とデザインと技術で建物の魅力を活かす再生事例です。

堀ビル／GOOD OFFICE新橋
[2021] 東京



長い時間がつくり上げた味わいと、現代的で軽やかなデザインが重なりあう空間を創り出しています。

技術開発の中核拠点



竹中技術研究所は、設立以来60年以上にわたり当社技術開発の中核の役割を果たしています。1993年に千葉県印西市千葉ニュータウンに移転、2019年には大規模リニューアルを行い、共創活動を行う開かれた研究所として活動しています。



国内最高水準の気密性を有するバイオクリーンルーム。



載荷能力30MNの世界最大級を誇る耐火実験装置。



竹中技術研究所を中核として、国内外に設置した技術開発拠点COT-Lab®などでもオープンイノベーションを推進しています。

社会と環境の変化に対応した研究開発

建物からまちづくりまでにおいて「つくる・まもる・いかす」のライフサイクル視点から、革新的な技術開発による新価値創造と脱炭素・資源循環・自然共生による社会課題解決を進めています。

新価値創造 健康®：ウェルビーイングを向上する空間づくり



建物価値向上につながる緑化空間創出。



健康的な歩行に気付くステップ・るーら®。

資源循環 サーキュラーデザインビルド®：廃棄物削減への新たな取組み



骨材（砂・砂利・碎石・砕砂）を循環利用サーキュラーコンクリート®②。



建設系使用済みプラスチックの再資源化。（油化ケミカルリサイクル）

脱炭素 CUCO®：CO₂を排出削減し固定するコンクリート等製造技術



2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）で適用した基礎部材。



自然共生 ネイチャーポジティブ：実現に向けた研究開発フィールド



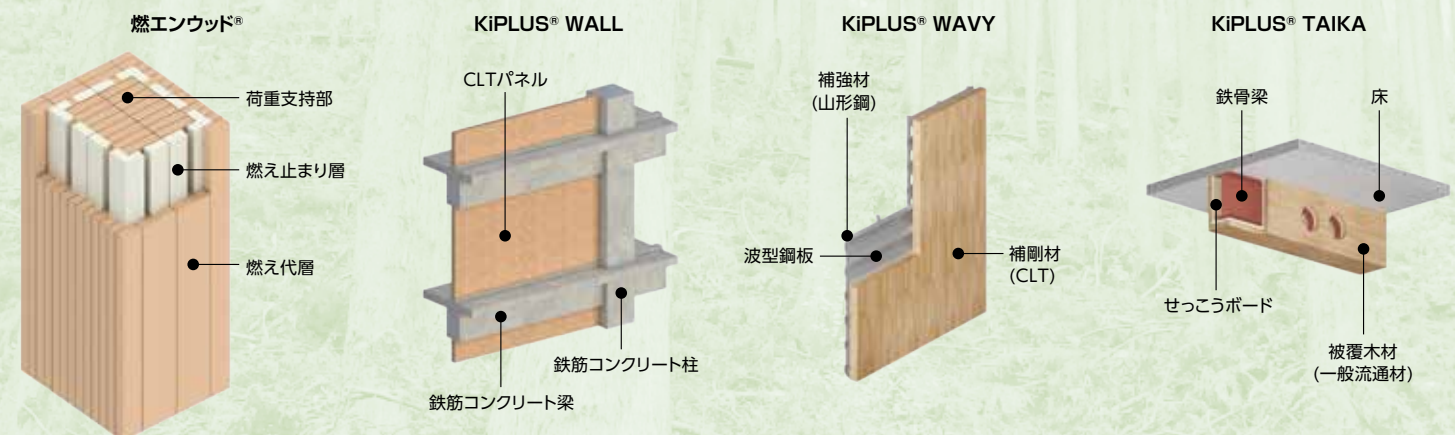
グリーンインフラ・生物多様性保全の実践調の森 SHI-RA-BE®。



国際的審査機関、環境省、国土交通省の各種認定・認証を取得。

竹中の木造・木質建築技術

木造・木質建築のトップランナーとして人と自然に配慮した環境デザインと最先端の技術を駆使して森とまちをつなぎ、社会課題の解決に挑みます。建物の木造化を階数の制限無く可能にする燃エンウッド®（国交省3時間耐火認定取得済）に加え、木材利用を推進するKiPLUS®シリーズを展開しています。



「燃エンウッド」は、耐火性能を有する構造体（柱・梁・耐力壁）です。火災時には、外側の集成材（燃え代層）が炭化することによる遮熱効果と、モルタルや石膏など（燃え止まり層）の吸熱効果で、内側の建物を支える集成材（荷重支持部）を守ります。国土交通省3時間耐火認定を取得しています。

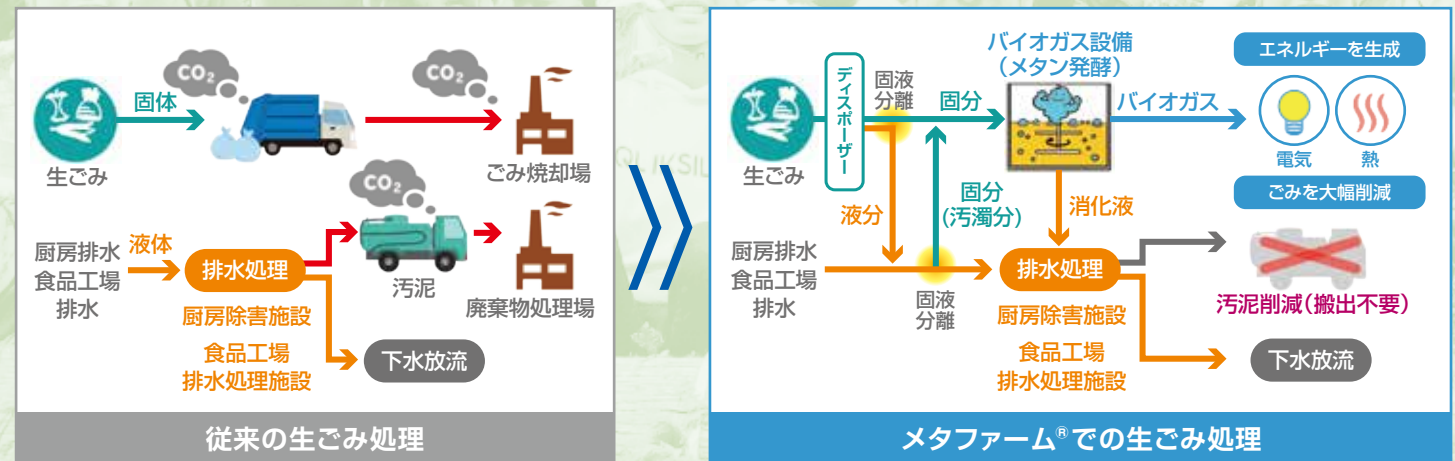
「KiPLUS WALL」は、木の耐震壁（CLT壁）に地震力などを負担させる架構システムです。架構システム全体で地震力に対する必要な効力を発揮することで、従来より柱や梁の断面サイズをスリム化します。S造にも適用可能です。

「KiPLUS WAVY」はCLTと波形鋼板耐震壁WAVYを組み合わせて高い耐震性能を発揮させ、規模が大きい建物や高層建物、壁を配置できる場所が限られている建物などにも適用しやすい技術です。建物の用途や構造種別に関わらず採用することが可能です。

「KiPLUS TAIKA」は耐火被覆材として一般流通木材を使用し、14層までの建物において耐火性能が確保し、木あわしの空間が実現できます。柱・梁で日本で初めて「国土交通大臣認定 耐火構造部材（2時間耐火）」を取得しました。

竹中の環境技術

お客様が必要とされる課題を解決する多くのソリューション技術を開発しています。例えば、生ごみ搬出量を削減しエネルギーも生むメタファーム®は、リサイクル・省CO₂・再エネを経済的に実現します。



メタファーム®の適用事例



生ごみ投入量（設計） 3t/日
厨房排水流入量（設計） 700m³/日

あべのハルカス（2014年全面開業）複数階で発生する生ごみを各階でディスポージャーにて粉碎・地下3階に配管移送して、バイオガスを発生させています。



原料投入（設計） 50t/日
生産排水流入量（設計） 750m³/日

カルビーせとうち広島工場（2025年稼働）食品工場で加工できない原料や非可食部と生産排水中の有機分よりバイオガスを発生させています。

1)NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)のグリーンイノベーション基金事業「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発」プロジェクトの一環として、当社は、本事業を実施するコンソーシアムであるCUCO®の幹事会社の一社として、コンクリートの製造過程で排出されるCO₂の排出量が実質ゼロ以下となるカーボンネガティブコンクリートの開発を進めています。

2)NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」の重点課題推進スキームで開発を進めています。



公益財団法人 竹中育英会

1961年に竹中育英会は、創設者であり初代理事長である竹中藤右衛門の「感恩報謝」の理念のもと、青少年の育成と教育の深耕を図ることを趣旨に設立されました。
返済不要の奨学金給付事業をはじめ、建築分野への研究助成や、ハンデキャップフィールドへの研究助成・教育設備助成を行っています。2012年からは展示会開催を主とする文化芸術振興事業も開始し活動の幅を広げています。



竹中育英会 HP

公益財団法人 竹中大工道具館



映像、音声ガイドシステム、木の香りを嗅ぐ、実際に触れることのできるハンズオン展示など「五感に響く」展示を行っています。



©JHLDN

2025年「The Craft of Carpentry 木の命を汲む人」をイギリス JAPAN HOUSE LONDONにて開催
国内での企画展、海外での巡回展も開催しています。



人と自然をやわらかにつなぐ存在としての「和」の建築。いたるところに伝統の職人技が散りばめられています。 2017年 BCS賞受賞

1984年、神戸市中山手に「消えていく大工道具を民族遺産として収集・保存し、研究・展示を通じて工匠の精神や大工道具鍛冶の心を後世に伝えていく」ことを目的に開設された、日本で唯一の大工道具の博物館です。今日までに収集した資料は36,000余点に上ります。2014年に新神戸駅近くに移転し、国内外から多くの見学者が訪れています。



竹中大工道具館 HP

メセナアワード2008 メセナ大賞部門 「伝統技能継承賞」受賞

公益財団法人 GALLERY A4



2024年「本とおはなしの楽しさを子どもたちに 松岡享子からの贈り物」展。

2005年に竹中工務店東京本店社屋1階に開館したギャラリーエークウッドは、暮らしを起点にした建築文化の発信を目的に活動しています。さまざまな媒体を使って、専門家だけでなく、広く一般の方々や子どもたちにも、愉しみながら建築の魅力に触れていただけるギャラリーを目指しています。



2025年「阿部勤のいえ」展



ギャラリーエークウッド HP

2025年 科学技術分野の文部科学
大臣表彰「科学技術賞」理解増進部門
2024年 建築学会賞(業績)
2022年 メセナアワード優秀賞
2021年 西洋美術振興財団賞
2014年 メセナアワードメセナ大賞

季刊誌 [approach]

1964年に「建築は人の暮らしや歴史・文化・芸術などと切り離しては成り立たない」をコンセプトとし創刊されました。建築のみならず、都市・歴史・文化・環境などの幅広い分野のテーマに取り組み、社会に向けてメッセージを伝えています。



[approach] HP

2016年メセナ優秀賞受賞



創刊号



200号記念誌

創刊時アートディレクター：故・田中一光氏

重要文化財 聴竹居



2016年に当社が取得し、災害復旧、保存修理、防災施設、外構庭園などの整備事業を進め2023年に完了。現在は、ほぼ竣工当時の姿へ復元しています。

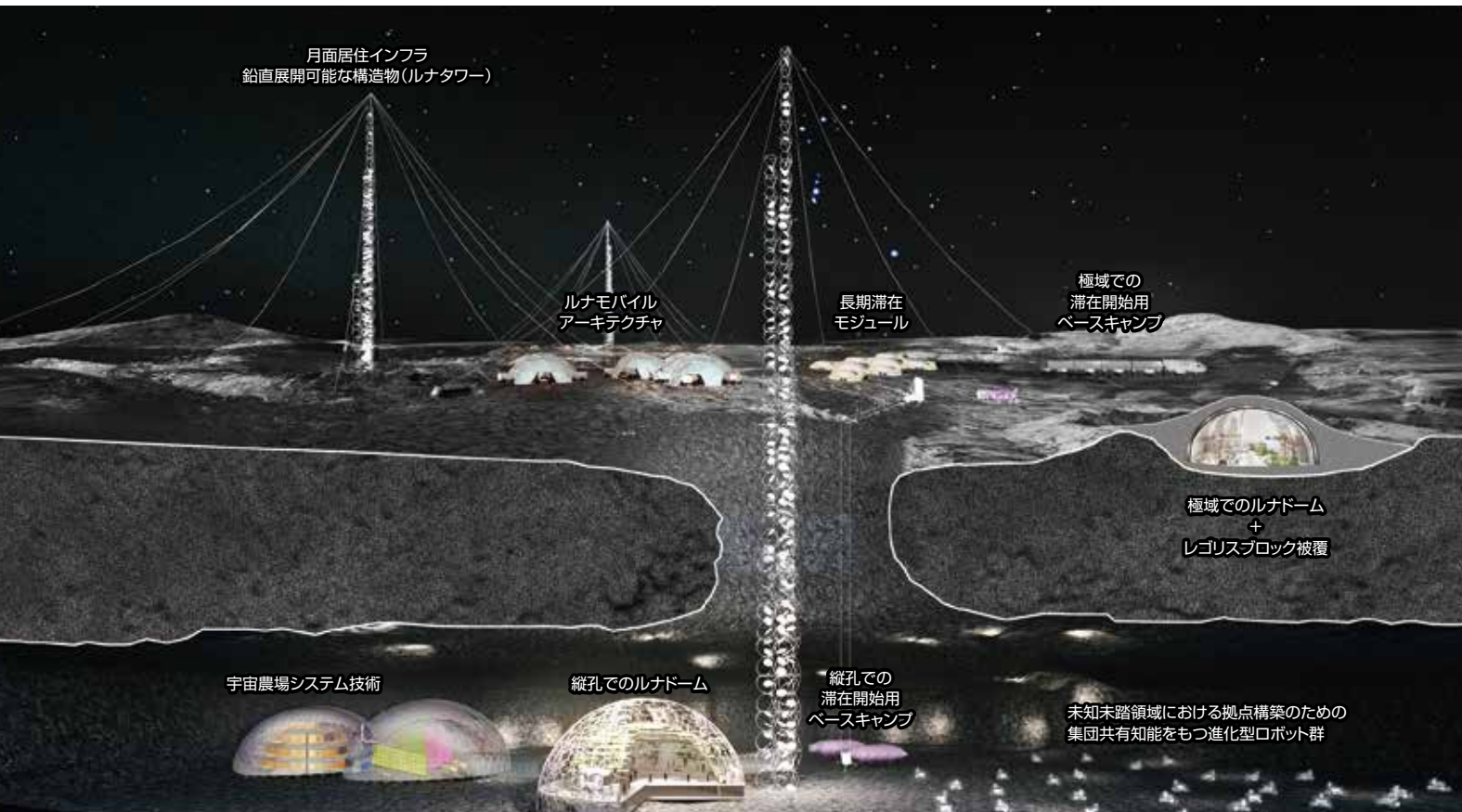


当社設計組織の黎明期に在籍し、その後京都大学教授となった藤井厚二が、京都府大山崎町に建築環境工学の知見を活かして1928年に建てた5回目の自邸です。1999年にDOCOMOMO Japanの近代建築20選に選定され、2017年には建築家が昭和時代に建てた住宅として初めて国の重要文化財に指定されています。



聴竹居 HP

メセナアワード2019 メセナ大賞 受賞



宇宙建築に熱い思い持つ社員を中心に、これからの宇宙建築を検討する宇宙建築タスクフォース(TSX：Takenaka Space eXploration)を設立しました。月面探査初期のベースキャンプとなるような建物から、多くの人が居住しコミュニティが形成されるような大規模空間まで、そこに住む人々の快適な生活を中心とした宇宙建築の計画・研究・開発・設計に取り組んでいます。



竹中工務店の宇宙建築



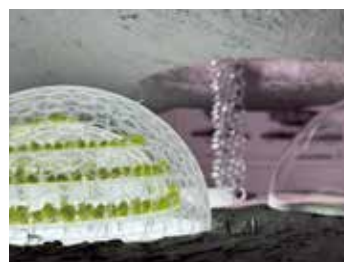
月面で快適に生活するための建築 ルナタワーとルナドーム。



2021年に国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟で星宇宙飛行士がレタスの袋栽培の実証実験を行いました。



展覧会や講演会、トークショーなどを通して、夢あふれる宇宙建築の魅力を社会に発信しています。



建築、土木、不動産・開発、ファシリティマネジメント、リニューアルといった当社グループの事業力を組み合わせ、新たな価値をもつ「まちづくり」を行い未来のサステナブル社会を実現していきます。

竹中土木

竹中グループの土木分野を担う会社として1941年に設立。「強くしなやかな国土をつくり人々の暮らしを守る」という建設業の使命のもと、安全・安心な社会資本の整備を通じ、国土づくりの担い手として歩み続けています。



竹中土木 HP



ユーラス大豊ウインドファーム

アサヒファシリティズ

ビルマネジメント・プロパティマネジメント・保険代理事業などをワンストップで提供しています。最先端のICTによる最適化を実践することで、省エネルギーなどの環境保全に取り組み、建物をお客様の優良な資産として見守り続けます。



アサヒファシリティズ HP



竹中セントラルビルサウスで導入した次世代の建物管理のモデルとなる拠点「集中管理センター」



竹中グループの紹介



竹中グループのあゆみ

竹中からの発信

コーポレートサイト

竹中工務店の過去、現在、目指す未来を紹介するサイトです。建築作品、ソリューション、会社情報、サステナビリティ情報、プレスリリースを掲載しています。



<https://www.takenaka.co.jp>

コーポレートレポート

中期経営計画や財務・非財務の主要データを盛り込み、当社とグループの事業活動全体をご理解いただくことを目的に発行しています。



竹中コーポレートレポート

ブックレット

竹中工務店の社会課題への取り組みを読みやすいブックレット形式でまとめています。



環境戦略2050



サーキュラーデザインビルドコンセプトブック



SDGs BOOKLET



グリーンインフラコンセプトブック



MACHInnovationコンセプトブック